

REDDプラスへの取組動向 Country Report 平成27年度 コスタリカ共和国



contents

概要情報	1
1 森林の概況	2
1.1 経年変化	2
1.2 今後の森林計画等	3
2 REDDプラスへの取組状況	4
2.1 取組開始	4
2.2 REDDプラス実施体制	4
2.3 FCPF及びUN-REDDへの参加	6
2.4 REDDプラス実施のための国内制度設計	6
2.5 活動スケジュール及び資金計画	8
2.6 REDDプラスへの取組経緯(年表)	9
3 主だったREDDプラス関連事業の実施状況	10
3.1 主だったREDDプラス関連事業の実施状況	10
3.2 日本の支援状況	12
4 その他	13
4.1 UNFCCCへの関与情報	13
4.2 UNFCCCへ提出している森林情報	14
4.3 その他の特徴的な地球温暖化対策	14

概要情報



自然条件

森林被覆率	51.0% (2010年)	森林減少率	-0.90%/年 (2005-2010年)
-------	------------------	-------	--------------------------

ガバナンス

フォーカルポイント	REDDプラス 実行委員会	主管官庁	国家森林融資基金 (環境・エネルギー 省)
-----------	------------------	------	-----------------------------

国ベースの取組進捗				
実施体制整備	国家戦略策定	モニタリング システム整備	参照レベル 開発	セーフガード に係る規定
○	○	△	○	△

上記は国内での進捗状況を記載している。「○」は準備段階で整備が整ったもの、「△」は整備途中、「-」は未実施もしくは顕著な進捗がないものを示している。

支援

国際イニシアティブ への参加状況	世界銀行FCPF	○ (準備基金及び炭素基金)
	UN-REDD	-
	その他	-

支援額	12百万米ドル	主なドナー	世界銀行FCPF、カ ナダ、ドイツ
日本からの支援額	-		

わが国の取組状況

JCMに関する情報	協定締結	○ (2013年12月9日)
	REDDプラスの 取扱い	○
	REDDプラス 事業の有無	-

その他の 主な 取組	国・準国 ベース	■ 森林保全計画が実施された (終了)
	PJ ベース	■ JICAが野生生物保護区における参加型保全管理モデルの改 善・普及に向けた能力構築を実施 (継続中)

1

森林の概況

- コスタリカは国土の約51%が森林であり、森林のうち天然林は約24%、天然生林が約67%、そして植林地が約9%となっている¹。
- 森林の管理は、環境・エネルギー省 (Ministerio de Ambiente y Energía : MINAE) が管轄している。
- コスタリカの森林面積変化の変遷は2つの時期に分けられる。1960～1985年にかけて、農業や家畜飼育活動等の経済開発により森林率(国土面積に占める森林面積の割合)は約77%から約32%へと減少した。その後、森林率は回復し2010年の森林率は50%を超えた²。
 - コスタリカでは、森林減少抑制を目的として1976～1996年に森林クレジット認証スキーム、1997年から環境サービスプログラムに対する支払い(Programa de Pago de Servicios Ambientales : PPSA)の政策を進めてきた。過去15年以上にわたる取組努力が森林減少抑制や炭素ストック量の増大を促進し、コスタリカの森林率回復に貢献した。
- 森林面積は2000～2010年においては、23千ha/年の増加を示した¹。現在、コスタリカでは森林からその他の土地への転換面積よりもその他の土地から森林への転換面積の方が大きく、結果として正味の森林減少は生じていない(2000～2005年においては、208～289千haの森林回復が生じた一方で、約144～224千haの森林が消失した)²。

1.1 経年変化

表 1-1 コスタリカの概況

	1990年	2000年	2010年
人口(中位推計) ³ (千人)	3,079	3,930	4,670
GDP ³ (百万米ドル)	7,403	15,946	36,298
1人あたりGDP ³ (米ドル/人)	2,356	4,058	7,773
GDP成長率 ³ (%)	3.9	1.8	5.0
国土面積 ¹ (千ha)	5,110	5,110	5,110
森林面積 ¹ (千ha)	2,564	2,376	2,605
森林率(%)	50.2	46.5	51.0
年平均森林減少面積 ¹ (千ha/年)	-	19	-23
Primary Forest ¹ (千ha)	623	623	623
Other naturally regenerated forest ¹ (千ha)	-	-	1,741
Planted Forest ¹ (千ha)	295	203	241
Carbon stock in living forest biomass ¹ (百万t)	233	217	238

(注) 森林率は、国土面積に占める森林面積の割合を算出したものであり、本文中に示された他の文献に基づく値とは必ずしも一致しない。

¹ 出典：FAO (2010) Global Forest Resources Assessment 2010, Global Tables.

² 出典：Republic of Costa Rica (2010) Readiness Preparation Proposal (R-PP) for Costa Rica : 9, 29, 32, 38, 43, 68, 105.

³ 出典：UN data

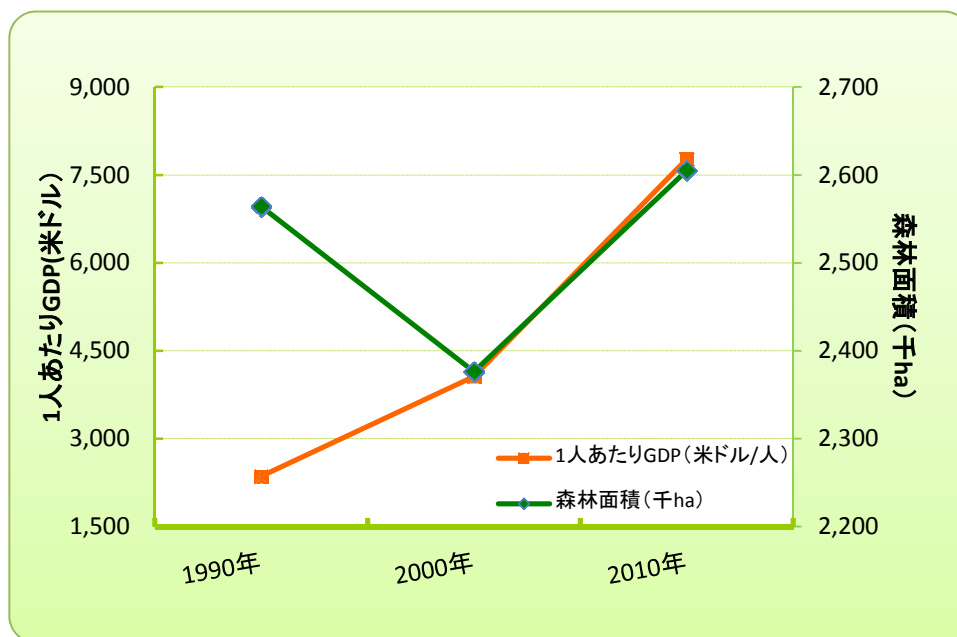


図 1-1 コスタリカの1人あたりGDPと森林面積(1990～2010年)¹

1.2 今後の森林計画等

- 2011年に国家森林開発計画2011-2020(Plan Nacional de Desarrollo Forestal 2011-2020 : PNUF)が策定された⁴。
- 国家森林開発計画2011-2020(PNUF)では、森林管理、社会経済開発と持続可能な森林経営、林産業の優位性、森林の持続性、森林分野に係る組織の調整、持続的な資金確保のための改革、及び気候変動の緩和と適応に関する7つの戦略が示された。

⁴ 出典：WEVES (2014) COSTA RICA COUNTRY REPORT 2014 : 7, 8.

2

REDDプラスへの取組状況

2.1 取組開始⁵

- コスタリカでは、森林減少抑制を目的として1976～1996年に森林クレジット認証スキーム、1997年から環境サービスプログラムに対する支払い(PPSA)の政策を進めてきた(再掲)。
- REDDプラスへの取組は上記の過去の2つの政策に続く第3世代の政策行動として、これまでの取組努力を活かし、環境サービスプログラムに対する支払い(PPSA)を基にREDDプラス戦略の策定が進められている。
 - 環境サービスプログラムに対する支払い(PPSA)は、国家森林融資基金(Fondo Nacional de Financiamiento Forestal : FONAFIFO)が所管し、森林減少抑制と炭素ストック量の増加によりもたらされる環境サービス(水資源保全、景観保全、生物多様性保全、及び温室効果ガス緩和)に対する支払いを進めてきた。
- 環境サービスプログラムに対する支払い(PPSA)の維持・拡大による原生林の森林減少抑制、二次林の管理、植林等を取組の1つとするREDDプラス戦略が検討されている。
 - 2000～2008年には、環境サービスプログラムに対する支払い(PPSA)によって約55百万t-CO₂の炭素ストックが蓄積された。
 - 2010～2020年の11年間には、REDDプラスへの取組により、約52百万t-CO₂の炭素ストック量の増加が達成されると推定されている。達成される炭素ストック増加量の内訳は、22百万t-CO₂がEcomarkets IIプロジェクト(詳細は3.1にて後述)以降に実施する環境サービスプログラムに対する支払い(PPSA)、30百万t-CO₂が森林炭素パートナーシップ基金(Forest Carbon Partnership Facility : FCPF)炭素基金のEmission Reductions Program(ER Program)による新たなREDDプラス活動によるものと見込まれている⁶。

2.2 REDDプラス実施体制^{7,8,9}

- 環境・エネルギー省(MINAE)の下に設置された国家森林融資基金(FONAFIFO)が調整組織としてREDDプラスを主導する。
- 2010年に国家森林融資基金(FONAFIFO)の下にREDDプラス理事会(REDD+ Borad of Directors)がREDDプラスに関する意思決定を行う組織として設置された。本組織は2012年にREDDプラス実行委員会(REDD+ Exective Committee)に名称変更された。
 - REDDプラス実行委員会は、関係省庁の代表者、関連する利害関係者(Relevant Interested Parties : RIP)に認定された民間事業者や先住民組織等の代表者7名で構成される。
 - 関連する利害関係者(RIP)は、将来のREDDプラス戦略の中核を担う組織の総称で、政府の定めた基準に基づいて96の団体がRIPとして認定されている。

⁵ 出典：Republic of Costa Rica (2010) Readiness Preparation Proposal (R-PP) for Costa Rica : 9, 43-49.

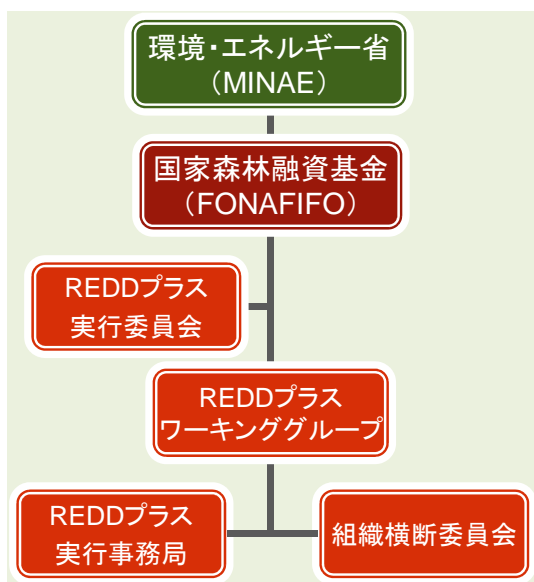
⁶ 出典：Republic of Costa Rica (2013a) Emission Reductions Program Idea Note (ER-PIN) : 29.

⁷ 出典：Republic of Costa Rica (2011) PROJECT INFORMATION DOCUMENT : 3.

⁸ 出典：REDD+ COSTA RICA (2014) REDD+ COSTA RICA / Who is involved?.

⁹ 出典：Republic of Costa Rica (2010) Readiness Preparation Proposal (R-PP) for Costa Rica : 15-18.

- REDDプラス実行委員会の支援組織として、REDDプラス実行事務局 (REDD+ Executive Secretariat) と組織横断委員会 (Interinstitutional Commission) が設置されている。
 - REDDプラス実行事務局は、REDDプラス実行委員会の運営支援組織であり、REDDプラス戦略開発やREDDプラス戦略を実施する組織間の調整を行う。
 - 組織横断委員会は、異なる戦略オプションを実施している組織 (大学、行政、NGO、先住民組織等) で構成され、各々の機関が担当する世界銀行FCPFのReadiness Preparation Proposal (R-PP) に示された実施タスクの遂行状況を報告し、REDDプラス戦略実施を促進する。

図 2-1 REDDプラス実施体制¹⁰表 2-1 REDDプラス関係省庁及びその役割^{11,12}

組織名	REDDプラス実施の際に想定される役割
環境・エネルギー省 (MINAE)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 国の環境政策の主管組織 ■ REDDプラス戦略構築の政府代表組織 ■ REDDプラス実行委員会の代表組織の1つ
国家森林融資基金 (FONAFIFO)	<ul style="list-style-type: none"> ■ REDDプラスの調整組織として中心的役割を担う ■ REDDプラスの政策や技術的課題対応及びPPSAを含む森林由来の生産物・サービスの提供・管理のための資金調達を行う
国立保全区域機構 (Sistema Nacional de Areas de conservación : SINAC)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 私有地の持続可能な森林管理促進、伐採許可、及び違法伐採管理を担当 ■ 組織横断委員会の代表組織の1つ
国立気象局 (Instituto Meteorológico Nacional : IMN)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 気象の記録等、気候変動に関する気象の課題を担当
農業畜産省 (Ministerio de Agricultura y Ganadería : MAG)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 畜産、漁業、農業、及び土地利用計画の管理を担当 ■ REDDプラス実行委員会の代表組織の1つ
農業技術大学 (Colegio de Ingenieros Agrónomos de Costa Rica : CIAgro)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 世界銀行FCPF炭素基金のER Program活動実施を担当

¹⁰ 出典：Republic of Costa Rica (2013a) Emission Reductions Program Idea Note (ER-PIN) Costa Rica : 47.

¹¹ 出典：Republic of Costa Rica (2013a) Emission Reductions Program Idea Note (ER-PIN) Costa Rica : 13.

¹² 出典：Republic of Costa Rica (2010) Readiness Preparation Proposal (R-PP) for Costa Rica : 105.

2.3 FCPF及びUN-REDDへの参加

- 2008年に世界銀行FCPFへの参加を表明し、2010年にR-PPが承認された。
- 2012年9月に世界銀行FCPFへEmission Reductions Program Idea Note (ER-PIN)を提出し、2013年2月に改訂版のER-PINを提出した。2013年9月にLetter of Intentを結び、コスタリカのREDDプラス事業から約12百万t-CO₂の排出削減量を発行し、世界銀行FCPF炭素基金が買い取るにあたっての交渉を開始することに合意した¹³。現在は、Emission Reduction Program (ER Program)の実施にあたり、プロジェクト計画書 (Emission Reduction Program Document : ERPD)の作成が進められ、技術アドバイザーパネルのレビューを受けている段階である。

2.4 REDDプラス実施のための国内制度設計

2.4.1 国家戦略

- 2015年7月、世界銀行FCPF準備基金へ提出したR-PPをベースとしてREDDプラスの完全実施に向けた国家REDDプラス戦略案を策定した。2015年中に参照レベルの開発等の準備段階の取組の全てを完了する予定としている¹⁴。(2015年12月末時点で進捗は確認されていない)

2.4.2 REDDプラス実施にあたっての許可制度

- REDDプラス実施にあたっての明確な許可制度はない。
- 環境・エネルギー省(MINAE)気候変動総局(Dirección de Cambio Climático : DCC)が主導するカーボンニュートラルプログラムにREDDプラスを位置づけることとしており、REDDプラス活動の登録システムの整備を進めている。

2.4.3 参照レベル

- 2016年1月に、UNFCCCへ参照レベルが提出された。

¹³ 出典：World Bank (2013) Letter of Intent: Potential Purchase of Emission Reductions from the FONAFIFO Carbon Fund Emission Reductions Program in Costa Rica,

¹⁴ 出典：Republic of Costa Rica (2015) TAP Review of the R-Package submitted by Costa Rica,

表 2-2 参照レベルの概要¹⁵

項目	概要			
提出日	■ 2016年1月			
対象地	■ ココ島を除く大陸域(5.1百万ha) (準国ベース)			
森林定義	■ 最小面積 : 1.0ha、最低樹高 : 5m、最低樹冠率 : 30% ■ A/R CDMにおける森林の定義と合致			
森林タイプ	■ 5区分(土地利用区分全14区分における分類)			
算定対象プール	○ 地上部バイオマス	○ 地下部バイオマス	○ 枯死木	
	○ 落葉・落枝	○ 土壌有機物	○ その他 (HWP)	
対象ガス	■ 二酸化炭素、メタン、N ₂ O			
算定対象	■ 森林減少の抑制、森林炭素ストックの増加			
設定方法	■ 参照期間の平均値から設定			
参照期間	■ ①1986～1996年(11年間)、②1997～2009年(13年間)			
対象期間	■ ①1997～2009年、②2010～2025年			
参照レベル	■ 14.3百万t-CO ₂ /年(1996～2009年) ■ 4.0百万t-CO ₂ /年(2010～2025年)			
活動量データ	■ 衛星 : LANDSAT ■ 時点数 : 合計5時点(1986、1992、1998、2001、2007年)			
係数	■ 構築中の国家森林インベントリのために設定した調査プロット289点のデータを使用			
国情の反映	■ 国内政策の効果を反映			
モニタリング頻度	■ 活動量データ等の改善に伴い見直し			

■ 2.4.4 モニタリングシステム^{16,17,18}

- モニタリングシステム構築に係る組織として、2013年に国家森林インベントリ委員会が設置された。国立保全区域機構(SINAC)及び国家森林融資基金(FONAFIFO)で構成される。
 - 担当行政官のキャパシティ・ビルディングとともに、高解像度センサを搭載した光学衛星RapidEyeを用いた森林被覆図作成、地上踏査実施等が進められている。
 - 生態地域と森林タイプの2段階で区分した森林被覆図の作成を進めている。標高によって4つの生態地域に区分した上で、生態地域ごとに原生林、二次林、マングローブ林、パーム林、植林の5つの森林タイプによる区分を進めている。
- 2015年中に国家森林インベントリ作成を完了する見込みとしている。(2015年12月末現在で進捗は確認されていない)

■ 2.4.5 セーフガード

- コスタリカの法律で公式に承認されたプラットフォームとして、環境情報国家システム(Sistema Nacional de Información Ambiental : SINIA)が構築されており、SINIAの中にREDDプラスのセーフガード情報システムに関する指標システムが組み込まれる予定である。

¹⁵ 出典 : Ministry of Environment and Energy (2015a) Forest reference emission level/forest reference level COSTA RICA.

¹⁶ 出典 : Republic of Costa Rica (2013a) Emission Reductions Program Idea Note (ER-PIN) Costa Rica : 34, 60-63, 97.

¹⁷ 出典 : GIZ (2014) Integrating Efforts for Sustainable Forest Management.

¹⁸ 出典 : Republic of Costa Rica (2013b) REDD Rediness Progress Fact Sheet COUNTRY COSTA RICA June2013.

■ 2.4.6 利益配分システム^{14,19}

- 現時点では、具体的な利益配分の方法は決まっていないが、利益配分に関する法律の制定プロセスを4段階に分けて示している。
- コスタリカでは、1997年から開始されている環境サービスプログラムに対する支払い(PPSA)で開発・実施されてきた活動タイプごとの支払い方法をREDDプラスにおいて応用し、利益配分の整理が進められている。環境サービスプログラムに対する支払い(PPSA)の実施地域外への利益配分を検討する大きな枠組みが必要とされ、UN-REDDの支援及びアメリカによるWISEプロジェクトにおいて検討する予定としている。

■ 2.5 活動スケジュール及び資金計画

- コスタリカは、REDDプラスの準備段階の推定費用を示している。資金については、自国及び各支援機関からの拠出額を算出している(表2-2)。
- 資金支援については、準備段階への支援として既に世界銀行FCPF準備基金より3.4百万米ドルの支援を得ている²⁰。2014年5月に中間進捗報告を提出し、5百万米ドルの追加支援が承認された²¹。

表 2-3 REDDプラス準備段階における推定費用等²⁰

活動		推定費用(単位:千米ドル)				
大項目	中項目	2011	2012	2013	2014	計
組織・協議 体制整備	国家REDDプラスの準備 段階管理体制整備	184	204	203	219	809
	協議及び参加のプロセ ス構築	150	205	55	0	410
REDD プラ ス戦略の準 備	土地利用、森林関連 法、政策及びガバナ ンスの評価	145	0	0	0	145
	REDDプラス戦略オプシ ョン	620	600	335	235	1,790
	REDDプラス実施の枠組 み構築	125	25	0	0	150
	社会・環境影響	100	10	10	35	155
参照レベル 開発	—	280	252	110	0	642
モニタリ ングシステ ム設計	—	46	132	70	0	248
計		1,650	1,428	783	489	4,349
資金源	コスタリカ政府	76	39	20	20	155
	Ecomarkets II	100	90	15	15	220
	Associations of Agricultural Engineers	10	10	10	10	40
	その他同盟国	145	135	90	90	459
	FCPF	1,319	1,154	648	354	3,475

(注) 各年の金額の和と合計値が一致していない箇所があるが、R-PPに示された金額をそのまま記載。

¹⁹ 出典：Republic of Costa Rica (2013a) Emission Reductions Program Idea Note (ER-PIN) Costa Rica : 58, 59.

²⁰ 出典：Republic of Costa Rica (2010) Readiness Preparation Proposal (R-PP) for Costa Rica : 91, 92, Table5, Table6.

²¹ 出典：Republic of Costa Rica (2014) REDD+ ANNUAL COUNTRY PROGRESS REPORTING (August 2014).

2.6 REDDプラスへの取組経緯(年表)

表 2-4 REDDプラスに関する主な取組

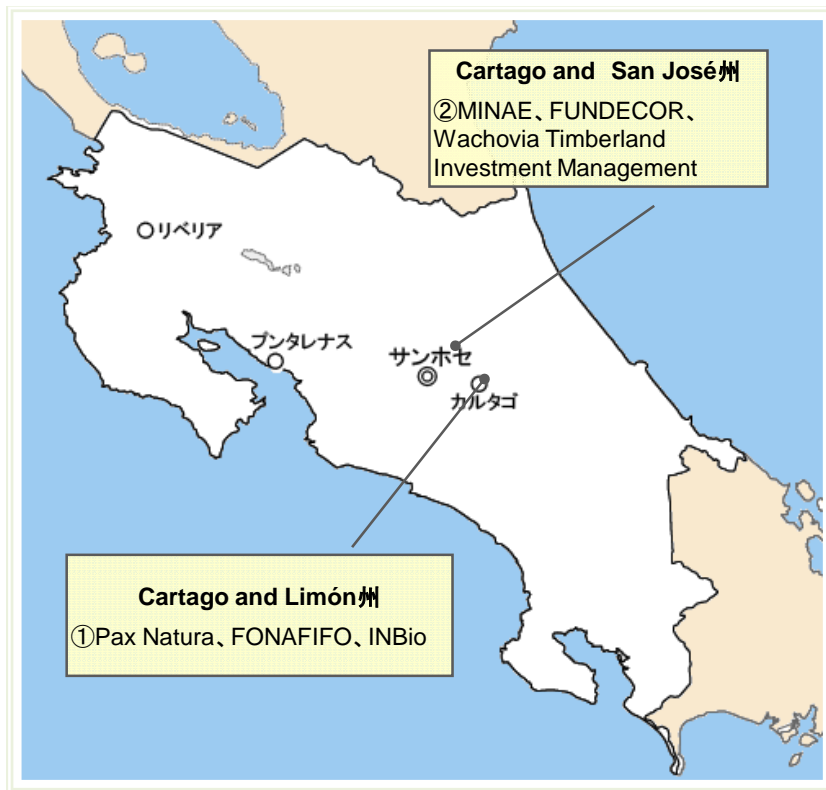
REDDプラスに関する主だった取組	
2008年	<ul style="list-style-type: none"> 世界銀行FCPFへの参加を表明した
2010年	<ul style="list-style-type: none"> 世界銀行FCPFのR-PPが承認された REDDプラス理事会が設置された
2011年	<ul style="list-style-type: none"> Social Environmental and Social Assessment (SESA) ワークショップを開催した モニタリングワークショップを開催した
2012年	<ul style="list-style-type: none"> 9月、世界銀行FCPFへER-PINを提出した REDDプラス理事会がREDDプラス実行委員会に名称変更された VCSのJNRパイロットプログラムへの参加を表明した
2013年	<ul style="list-style-type: none"> 2月、世界銀行FCPFへER-PINの改訂版を提出した 12月、世界銀行FCPF炭素基金とEmission Reductions Purchase Agreement (ERPA)を締結した
2015年	<ul style="list-style-type: none"> 国家森林インベントリ作成を完了予定(2015年末時点で進捗不明)
2016年	<ul style="list-style-type: none"> 1月、UNFCCCへ参照レベルを提出

3

主だったREDDプラス関連事業の実施状況

3.1 主だったREDDプラス関連事業の実施状況

- 国家森林融資基金 (FONAFIFO) が主導して進める世界銀行FCPF炭素基金のER Program及び環境サービスプログラムに対する支払い (PPSA) が適用される取組、Climate, Community and Biodiversity Standards (CCBS) 等の下で進められるプロジェクトが実施されている。なお、REDDプラス戦略策定にあたっては、これらの取組から得られる教訓を反映する方針としている²²。



(注) 2015年12月31日現在実施中の事業を示している。

(注) 図中の番号は、表3-1と対応。

(注) プロジェクトの実施主体等が公開している情報から主だった事業を整理した。

図 3-1 主だったREDDプラス関連事業の実施地域及び実施団体

²² 出典：FONAFIFO (2014a) Desafios para el pago de servicios ambientales en el contexto de la implementación de la Estrategia Nacional de REDD+ Costa Rica : slide8.

表 3-1 主だったREDDプラス関連事業実施及び資金支援の状況

事業/支援タイプ	主だった実施主体	取組の概要
パイロット事業実施		
① 民間企業による支援	MINAE、 FUNDECOR、 Wachovia Timberland Investment Management	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクト名 : Project CARFIX²³ 実施場所 : Cartago and San José 州 Brulio Carrillo National Park 国立公園周辺の Central Volcanic Range Conservation Area (ACCV) の天然林保全と森林被覆の回復を目的とした持続可能な森林管理プロジェクト。 対象地面積は108,265ha。 プロジェクト期間は1996年1月～2020年12月の25年間。
② NGOによる支援	Pax Natura、 FONAFIFO、コスタリカ生物多様性研究所 (National Biodiversity Institute : INBio)、 Foundation for Development of Central Volcanic Range (FUNDECOR)	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクト名 : Avoided Deforestation Through the Payment of Environmental Services in Rainforests Located on Private Lands in the Conservation Area of the Central Volcanic Mountain Range of Costa Rica (Pax Natura project)²⁴ 実施場所 : Cartago and Limón 州 ACCV内の私有地12千haを対象にPPSAの下で森林減少抑制による排出削減、生物多様性保全、及び水資源保全を行う。 プロジェクト期間10年間で3,816haの森林減少を抑制し、1,614,887t-CO₂の排出削減を見込む。 2009年にCCBS認証を取得。
政府主導の取組	FONAFIFO、地球環境ファシリティ (Global Environmental Facility : GEF)	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクト名 : Ecomarkets II²⁵ 市場ベースの環境管理プロジェクト形成のための取組として、環境サービスへの支払いによる持続的な資金メカニズムの構築、PPSAの拡大、小規模面積の土地所有者のPPSAへの参加促進を進める。 プロジェクト期間は2008～2013年。 Ecomarkets Project (2000～2006年) の後続プロジェクト。 政府予算56百万米ドル、GEFから10百万米ドル、世界銀行から30百万米ドル、CDM等の炭素ユニット販売から2.7百万米ドルの拠出を見込む。
二国間支援	ドイツ国際協力公社 (Gesellschaft für Internationale Zusammenarbeit : GIZ)	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクト名 : REDD - the Central American Commission on Environment and Development (CCAD) - GIZ²⁶ 国ベースの取組 CCADに参加する中央アメリカ8カ国に対して、MRVや森林モニタリングの技術支援を実施。 プロジェクト実施期間は2010～2016年。 コスタリカではとくに、国家森林インベントリ作成のための技術支援を実施。

(注) 左列の番号は、図3-1と対応。

²³ 出典 : UNFCCC (2014a) Activities implemented jointly (AIJ): Costa Rica.

²⁴ 出典 : FUNDECOR (2009) Programmatic Project for the Payment for Environmental Services Mitigation of Greenhouse Gas Emissions through Avoided Deforestation of Tropical Rainforests on Privately-owned Lands in High Conservation Value Areras of Costa Rica.

²⁵ 出典 : FONAFIFO (2014b) Home > Projects > Ecomarkets.

²⁶ 出典 : GIZ (2014) Integrating Efforts for Sustainable Forest Management.

3.2 日本の支援状況

3.2.1 二国間クレジット制度(JCM)に係る支援

- 2013年12月9日、JCMに関する二国間文書の署名が実施された²⁷。
- 2015年9月に第1回合同委員会が開催され、JCMの実施規則案が承認された。
- プロジェクトの対象分野としてREDDプラスが明記されている。2015年12月現在、REDDプラスを対象とするプロジェクトは実施されていない。

3.2.2 その他の支援等

- 以下の無償資金協力を実施してきた。
 - 環境プログラム無償「森林保全計画」²⁸(2010年)：7億円の資金を提供し、森林保全計画の立案、自然保護区及びその周辺地域の違法な森林伐採の抑制等に貢献するために、森林の植生調査、監視活動等に必要な機材を供与。
 - 国際協力機構(JICA)は、以下の技術協力プロジェクトを実施。
 - 「バラ・デル・コロラド野生生物保護区(Refugio Nacional de Vida Silvestre Barra del Colorado: REBACO)住民参加型管理プロジェクト」²⁹(2008～2011年)：保護区内・保護区周辺住民と保護区行政担当機関による参加型保全管理のためのキャパシティ・ビルディングを実施。
 - 「参加型生物多様性保全推進プロジェクト」³⁰(2013～2018年)：バラ・デル・コロラド野生生物保護区(REBACO)で実施した参加型保全管理モデルの改善・普及に向けたキャパシティ・ビルディングを実施。

²⁷ 出典：環境省（2013）二国間クレジット制度に係る日・コスタリカ二国間文書の署名について（お知らせ）。

²⁸ 出典：外務省（2010）報道発表 コスタリカ共和国に対する無償資金協力「森林保全計画」に関する交換公文署名式。

²⁹ 出典：JICA（2014a）プロジェクト基本情報 バラ・デル・コロラド野生生物保護区における住民参加型管理プロジェクト。

³⁰ 出典：JICA（2014b）プロジェクト基本情報 参加型生物多様性保全推進プロジェクト。

4

その他

4.1 UNFCCCへの関与情報

4.1.1 UNFCCCでの取組状況

表 4-1 UNFCCCでの取組状況^{31,32}

実施事項	実施状況
国連気候変動枠組条約	批准：1994年8月26日
京都議定書	批准：2002年8月9日
DNA担当組織	環境・エネルギー省(MINAE)
第1次国別報告書	2000年11月18日提出
第2次国別報告書	2009年10月7日提出
隔年更新報告書	2015年12月9日提出
各国が自主的に決定する約束草案	2015年9月30日提出

4.1.2 NAMAsにおけるREDDプラスの位置付け

- NAMAsの取組分野として運輸、エネルギー、森林、廃棄物に重点を置いて進められる予定としている³³。

4.1.3 INDCにおけるREDDプラスの位置づけ、REDDプラスへの言及³⁴

- REDDプラスの活動実施により、世界銀行FCPF炭素基金から排出削減に対する支払いを受けた際には、炭素クレジットの計上が期待されると言及している。
- 国家REDDプラス戦略等を通じた活動から得られる情報に基づいて、AFOLU分野の排出・吸収量算定方法の改善を行う予定であると言及している。
- 気候変動に関する政策や行動の実施に伴い、カンクン合意で定められたセーフガードの完全な遵守や、先住民への自由で事前の十分な情報に基づく合意(Free, Prior, Informed Consent：FPIC)の確保が必要と言及している。
- 農村開発計画と国家REDDプラス戦略を統合することにより、農業分野の緩和及び適応行動についての管理が改善されることに期待すると言及している。

³¹ 出典：UNFCCC (2014b) Parties & Observer States: Costa Rica.

³² 出典：UNFCCC (2014c) Submitted biennial update reports (BURs) from non-Annex I Parties.

³³ 出典：UNFCCC (2011) Compilation of information on nationally appropriate mitigation actions to be implemented by Parties not included in Annex I to the Convention：14.

³⁴ 出典：Ministry of Environment and Energy, Government of Costa Rica (2015b) COSTA RICA'S INTENDED NATIONALLY DETERMINED CONTRIBUTION.

4.2 UNFCCCへ提出している森林情報

表 4-2 A/R CDMのための森林定義³⁵

項目	値
森林面積	最小1ha
樹冠率	最低30%
樹高	最低5m

表 4-3 A/R CDMのための対象森林³⁵

項目	A/R CDMの対象状況
竹林	対象
オイルパーム	対象

4.3 その他の特徴的な地球温暖化対策

- 国家気候変動戦略 (Estrategia Nacional de Cambio Climático : ENCC) が2009年に策定された。2021年までにカーボンニュートラルを達成することを目標としている³⁶。
 - 目標達成のために、緩和、脆弱性と適応、温室効果ガスの測定基準システム、国の能力開発と技術移転、教育と意識向上、及び資金に関する6つの戦略が示された。

出典・参考資料

- Adaptation Learning Mechanism (2014) Costa Rica. Adaptation Learning Mechanism <http://www.undp-alm.org/explore/costa-rica>
- FAO (2010) Global Forest Resources Assessment 2010. FAO <http://www.fao.org/forestry/fra/fra2010/en/>
- FCPF (2015) FMT's Report: Progress Update and FY15 Annual Report. FCPF https://www.forestcarbonpartnership.org/sites/fcp/files/2015/November/PA8_FMT_Progress_Report_Final_1.pdf
- FONAFIFO (2014a) Desafios para el pago de servicios ambientales en el contexto de la implementación de la Estrategia Nacional de REDD+ Costa Rica. FONAFIFO
- FONAFIFO (2014b) Home > Projects > Ecomarkets. FONAFIFO <http://www.fonafifo.go.cr/home/projects/ecomarkets.html>
- FONAFIFO (2015a) Costa Rica development of the Information System on REDD Safeguards in Costa Rica. REDD+ COSTA RICA http://reddcr.go.cr/sites/default/files/centro-de-documentacion/costa_rica_-_si_safeguards_redd.pdf
- FONAFIFO (2015b) Summary Proposal for REDD's Safeguards Information System in REDD Adopted by the COP 16 of the UN Framework Convention on Climate Change.
- FUNDECOR (2009) Programmatic Project for the Payment for Environmental Services Mitigation of Greenhouse Gas Emissions through Avoided Deforestation of Tropical Rainforests on Privately-owned Lands in High Conservation Value Areas of Costa Rica. CCBA https://s3.amazonaws.com/CCBA/Projects/Avoided_Deforestation_Through_the_Payment_of_Environmental_Services_in_Rainforests_Located_on_Private_Lands_in_the_Conservation_Area_of_the_Central_Volcanic_Mountain_Range_of_Costa_Rica/English.pdf
- GIZ (2014) Integrating Efforts for Sustainable Forest Management. GIZ <http://www.reddccadgiz.org/>
- JICA (2014a) プロジェクト基本情報 バラ・デル・コラド野生生物保護区における住民参加型管理プロジェクト. JICA <http://gwweb.jica.go.jp/km/ProjectView.nsf/VIEWParentSearch/6BC86C71BB27FD51492575D100358CB4?OpenDocument&pv=VW02040104>
- JICA (2014b) プロジェクト基本情報 参加型生物多様性保全推進プロジェクト. JICA <http://gwweb.jica.go.jp/km/ProjectView.nsf/VIEWParentSearch/5B7C7244578590AA49257B020079E26B?OpenDocument&pv=VW02040104>
- 環境省 (2013) 二国間クレジット制度に係る日・コスタリカ二国間文書の署名について(お知らせ). 環境省 <http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=17468>

³⁵ 出典：UNFCCC (2014d) Designated National Authorities.

³⁶ 出典：Adaptation Learning Mechanism (2014) Costa Rica.

- Ministry of Environment and Energy (2015a) Forest reference emission level/forest reference level COSTA RICA. UNFCCC http://redd.unfccc.int/files/2016_submission_frel_costa_rica.pdf
- Ministry of Environment and Energy, Government of Costa Rica (2015b) COSTA RICA's INTENDED NATIONALLY DETERMINED CONTRIBUTION. UNFCCC <http://www4.unfccc.int/submissions/INDC/Published Documents/Costa Rica/1/INDC Costa Rica Version 2.0 final ENG.pdf>
- 外務省 (2010) 報道発表 コスタリカ共和国に対する無償資金協力「森林保全計画」に関する交換公文署名式. 外務省 http://www.mofa.go.jp/mofaj/press/release/22/3/0323_04.html
- REDD+ COSTA RICA (2014) REDD+ COSTA RICA / Who is involved?. REDD+ COSTA RICA <http://reddcr.go.cr/en>
- Republic of Costa Rica (2010) Readiness Preparation Proposal (R-PP) for Costa Rica. FCPF <http://www.forestcarbonpartnership.org/costa-rica>
- Republic of Costa Rica (2011) PROJECT INFORMATION DOCUMENT http://www-wds.worldbank.org/external/default/WDSPContentServer/WDSP/IB/2012/09/17/000020953_20120917152614/Rendered/PDF/725530Costa0Rica000FCPF0PID0rev.pdf
- Republic of Costa Rica (2013a) Emission Reductions Program Idea Note (ER-PIN) Costa Rica. FCPF <http://www.forestcarbonpartnership.org/costa-rica>
- Republic of Costa Rica (2013b) REDD Rediness Progress Fact Sheet COUNTRY COSTA RICA June2013. FCPF <http://www.forestcarbonpartnership.org/costa-rica>
- Republic of Costa Rica (2014) REDD+ ANNUAL COUNTRY PROGRESS REPORTING (August 2014). FCPF <http://www.forestcarbonpartnership.org/sites/fcp/files/2014/october/FCPF Costa Rica Progress Report August 2014.pdf>
- Republic of Costa Rica (2015a) TAP Review of the R-Package submitted by Costa Rica. FCPF <https://www.forestcarbonpartnership.org/sites/fcp/files/2015/October/1-Costa Rica TAP review of R-P Self assessment-English.pdf>
- Republic of Costa Rica (2015b) REDD+ ANNUAL COUNTRY PROGRESS REPORTING COUNTRY: Costa Rica. FCPF http://www.forestcarbonpartnership.org/sites/fcp/files/2015/September/FCPF_August2015_CR.pdf
- UN data <http://data.un.org/Default.aspx>
- UNFCCC (2011) Compilation of information on nationally appropriate mitigation actions to be implemented by Parties not included in Annex I to the Convention. UNFCCC <http://unfccc.int/resource/docs/2011/awglca14/eng/inf01.pdf>
- UNFCCC (2014a) Activities implemented jointly (AIJ): Costa Rica. UNFCCC https://unfccc.int/kyoto_mechanisms/aij/activities_implemented_jointly/items/1723.php
- UNFCCC (2014b) Parties & Observer States: Costa Rica. UNFCCC http://unfccc.int/parties_and_observers/parties/items/2352.php
- UNFCCC (2014c) Submitted biennial update reports (BURs) from non-Annex I Parties. UNFCCC http://unfccc.int/national_reports/non-annex_i_natcom/reporting_on_climate_change/items/8722.php
- UNFCCC (2014d) Designated National Authorities. UNFCCC <http://cdm.unfccc.int/DNA/index.html>
- VCS(2013)Jurisdictional and Nested REDD+ Pilot Programs. VCS <http://www.v-c-s.org/jnr-pilot-programs>
- WEVES (2014) COSTA RICA COUNTRY REPORT 2014. WEVES <http://www.wavespartnership.org/sites/waves/files/documents/WAVES Policy Note Costa Rica.pdf>
- World Bank (2013) Letter of Intent: Potential Purchase of Emission Reductions from the FONAFIFO Carbon Fund Emission Reductions Program in Costa Rica. World Bank [http://www.forestcarbonpartnership.org/sites/fcp/files/Carta_intenci%C3%B3n_firmada_the_world_Bank_\(banco_mundial\)_2013.pdf](http://www.forestcarbonpartnership.org/sites/fcp/files/Carta_intenci%C3%B3n_firmada_the_world_Bank_(banco_mundial)_2013.pdf)

本レポートは、原則として、2015年12月31日までに公表された情報に基づく。

